

# 指導資料

鹿児島県総合教育センター  
令和2年10月発行

# 外国語 第93号

対象 中学校 義務教育学校  
校種 特別支援学校



## 新学習指導要領の目標達成に向けた授業改善 — 技能統合型の授業の実践を通して —

新中学校学習指導要領の下では、『語彙や文法等の個別の知識がどれだけ身に付いたかだけに主眼が置かれるのではなく、外国語を使って何ができるようになるかが大切である。』と示されている。また、この実現のために技能統合型の授業展開が必要とも記されており、全国学力学習状況調査（平成31年4月実施）においても関連する問題が出題された。そこで、その問題分析から新学習指導要領の目標を達成すべく技能統合型の授業展開例を紹介する。

### 1 新学習指導要領における外国語科の目標

中学校学習指導要領解説（平成29年告示）外国語科においては、「言語の役割として、創造的・論理的思考の側面、感性・情緒の側面、他者とのコミュニケーションの側面があることに留意し、特に他者とのコミュニケーションに焦点を当てて指導することが重要である。」と述べられている。また、簡単な情報や考えなどを理解したり、表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力の育成が外国語科の目標の中心となる部分である。外国語の音声や文字を使って実際にコミュニケーションを図る資質・能力であり、理解する・表現する・伝え合う、という三つの要素に整理された。「理解する」「表現する」という単に受け手となったり送り手となったりする単方向のコミュニケーションだけでなく、「伝え合う」という双方向のコミュニケーションも重視している。このことは、これまでのように「聞く」、「読む」、「話す」の指導や活動をそれぞれ単独で行うと、双方向のコミュニケーションの活動にはならないため、複数の技能の指導を統合

して行う必要があることを示している。

### 2 全国学力・学習状況調査から

平成31年4月に実施された全国学力学習状況調査でも技能が統合された以下のような問題が多く出題された。

**4** (放送問題)  
英語の授業で、来日予定の留学生からの音声メッセージを聞くところです。メッセージの内容を踏まえて、あなたのアドバイスを英語で簡潔に書きなさい。

※ 下の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

(スクリプト)  
Hello. I'm Nick. I'm looking forward to meeting you. I'm going to stay in your country for two weeks. I hear that there are a lot of club activities in Japanese schools. I want to try some! Which club activities can I try? Can you give me some advice? I'm waiting for your answer. Thank you.

### 図1 「聞く」と「書く」が統合された問題

本問は、聞いたことを基に書くという技能統合の問題である。話し手からの依頼、提案などを聞き、適切な応答を相手に返すことで、その内容や意図を正しく理解しているかどうかを把握する問題である。全国の生徒の約4割（本県46%）が無解答に該当した。英語を

聞き取ることができなかった、もしくは、書きたい内容があっても、英語が思い浮かばず表現できなかったなどの理由が考えられる。自然な口調で話される英語を聞いて適切に応じる活動を、日頃の授業であまり行っていないことが要因の一つとして考えられる。

指導においては、「聞くこと」が目的をもって行う能動的な活動であることを念頭に置き、ただ聞いて理解するだけの活動にしないことが大切である。そのためには、場面などの設定を工夫しながら話し手がどのような人で、何を求めているのか、その場面においてどのような反応がふさわしいのか考えさせ、内容を踏まえて自分の考えや意見を表現させることが重要である。また、日頃から生徒と英語でやり取りをする中で、実際に聞いて応じる活動を積み重ね、体験的に即興力を身に付けさせていくことも必要である。

8 英語の授業で、次のような資料が配られました。これを読んで、文中の問いかけに対するあなたの考えを英語で簡潔に書きなさい。

There are a lot of hungry people in the world. The World Food Programme gives food to about 90,000,000 people in 83 countries. Japan is a member of this project. However, here in Japan, people waste more than 6,000,000t of food every year. It means that one person wastes two rice balls every day. We waste food not only at home, but also at restaurants, convenience stores, supermarkets, schools, and some other places. That is really *mottainai!* We have to stop wasting food now. What can we do about this problem?

(注) the World Food Programme: 世界食糧計画 (国際連合の事業)  
project: 事業 waste: ~を無駄にする rice ball: おにぎり  
not only ~, but also ...: ~だけでなく、...も

### 図2 「読む」と「書く」が統合された問題

本問も、読んだことを基に書くという技能統合の問題である。読んだ後に感想や意見、賛否また、その理由を念頭に置いて、話の内容や書き手の意見などを主体的に捉えることができるかどうかを把握する問題（本県正答率10%）である。

指導に当たっては、読む目的に応じて要点を把握した上で、得られた複数の情報を取り出して総合的に判断し、内容に関する感想や賛否、自分の考えなどを話したり書いたりして表現するなど、領域間の統合的な言語活動

を工夫することが必要である。

### 英語2 即興でやり取りをする

あなたは、ユイコとアラン先生と話しています。まず、ユイコとアラン先生が、2人で話している場面から始まります。そのあと、あなたが尋ねられたら、2人のやり取りの内容を踏まえて、会話が続いていくように英語で応じてください。解答時間は20秒です。それでは始めます。

アラン先生が見せている写真



A: Look at this picture of my family.  
This is my favorite picture.  
Y: Nice! Who is she?  
A: Oh, she is my mother, Nancy. And he is my brother, Tom. He can cook very well.  
Y: I see. What kind of work does your mother do?  
A: She is a teacher.  
Do you have any other questions about them?

### 図3 「聞く」と「話す」が統合された問題

図3の問題は、聞くことと話すことの技能統合の問題であるが、会話する2人のやり取りに加わり、即興で会話を続ける問題である。情報や考えなどを即座にやり取りしたり、相手の発話の内容をふまえて、それに関連した質問や意見を述べたりして会話を継続させていくことができるかどうかを把握するための問題である。

指導に当たっては、日頃の授業で継続的にやり取りをする機会を増やすことが必要である。最初から即興で伝え合う場面を設定し、メモだけを見て話す支援も有効である。

### 英語3 まとまりのある内容を話す

あなたの学校で、海外のあるテレビ局が「世界の子供たちの夢」というテーマで番組を収録しています。画面にある話してほしい内容の①、②について、英語で話してください。1分間、内容を考えたあと、30秒で話します。それでは、内容を考えましょう。それでは、30秒で話してください。

話してほしい内容

(①、②のどちらも話してください)

- ①あなたの将来の夢、または、将来やってみたいこと
- ②その実現のために頑張っていること、やるべきこと



### 図4 「聞く」と「話す」が統合された問題

図4の問題は、聞くことと話すことの技能統合の問題で、与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すことができるかを問う問題である。

指導に当たっては、与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話す力を育てるように意図的に言語活動を行うことが大切である。

### 3 技能統合型の授業実践例

- (1) 教材 新学習指導要領対応 中学校外国語教材 Bridge
- (2) 単元 What can we do for the Environment?
- (3) 授業の実際  
(本文)



Many people don't think they can help the environment more. But you can be eco-friendly in your daily life. For example, you can be eco-friendly when you brush your teeth. If you don't stop water, you would use 13,140 liters of water in a year. However, if you use a cup instead, you will only use 438 liters in a year.

We can do many things for the environment in our daily lives. There are some examples;

#### EXAMPLES

- We can turn the lights off when we leave a room.
- We can turn the TV off when no one is watching it.
- We can keep the room at 28°C in summer and at 20°C in winter.
- We shouldn't keep the refrigerator open.

Do you still think you can't do anything for the environment? Why don't you start doing something small?

- ① 教材は閉本の状態で



*Have you thought about the environment before? Let's talk about this.  
Jyuri, what do you do for the environment?①*

*Yes, you do.  
Please tell me about it.③*

※生徒が言いたかったことを英文にする。

*Oh, do you mean that you turn the lights off when you leave your room?⑤*

*Can you say that again?⑦*

い, い Yes..②

す, す switch off lights④

Yes!⑥

*I turn the lights off when I leave my room⑧*



※教師が示した英文は必ず生徒に復唱させる。

- ② このような教師と生徒のやり取りを数名と行い, そのやり取りを生徒たちに聞かせることで, どのようなことを話せば良いか他の生徒にもイメージさせる。
- ③ その後, 上記の教師と生徒とのやり取りを生徒同士でさせる。
- ④ その後, 教材を開本させ, 読ませる。



*Open your textbooks to p26.  
Read it for five minutes.⑨*

(5分後)

*What did you catch?  
Please check the contents of the textbook with each other.⑩*

*When we brush our teeth, we can be more eco-friendly.⑪*



ペアで内容確認

*Yes! When we brush our teeth, we should use a cup.⑫*

- ⑤ ペアで内容を確認させる。
- ⑥ 教師は教材の内容説明や文法についての説明を行う。
- ⑦ 生徒は教科書の文を引用し, 環境問題に対する自分の意見を発表する。



*What can we do for the environment?  
I want to hear your opinion.  
Ken, what is your opinion?*

※ 生徒の状況を見て、メモを見ながらリテリングの活動させたり、生徒同士で練習をさせたりしてから、発表させることも大切である。

- ※ 生徒に教材の文を引用させることでまとまりある文章を発表させることができる。
- ※ 教材を引用させるために音読を十分させる必要がある。

*Many people don't think they can help  
the environment more.  
But we can be eco-friendly in our daily  
life. So, I want to keep the room at  
28℃ in summer and at 20℃ in  
winter.*



- 家庭学習について
  - ・発表した内容を家庭で書かせる。(次時に生徒同士で英文の確認を行い、その後教師が誤答傾向を確認する。) ※ 正確さは書かせることで高めさせる。
  - ・生徒は今日の学習で言いたかったが、言えなかった内容を英文で書いてくる。

#### 4 指導を行う際の留意点

今回は、「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」を統合した授業例で、書くことを家庭学習で行う活動であった。今回のような教材はこれまで「読むこと」だけを指導されることが多かったが、ここで学習指導要領に明記している領域別の目標及び指導する際の留意するべき事項を確認しておきたい。「読むこと」の指導で、「概要を捉える」とは、例えば物語などのまとまりのある文章を最初から最後まで読み、一語一語や一文一文の意味など特定の部分にのみとらわれたりすることなく、登場人物の行動や心情の変化、全体のあらすじなど、書き手が述べていることの大まかな内容を捉えることである。と示されているため、物語の概要を捉えさせる際には、気を付けておきたい。また、生徒の実態に応じて、グループで協力して一つ文を読ませ、自分の担当の英文をメモしながら読ませたり、理解に自信が無い生徒が多い場合は、生徒同士で確認させたりしながら活動させ、できるだけ失敗経験をさせないことも大切である。

なお、教材に入る前にその内容に関する生徒のもつ予備知識や経験等を確認しながら、教材に向かわせることから始めることも重要である。

#### 5 まとめ

学習指導要領では、児童生徒の学年が上がるにつれて学習意欲が低下する課題があると示されている。英語が得意、不得意関係なく多くの生徒(約8割)は、「英語を使いたい」、「英語を話したい」と思っている(ベネッセ総合研究所2018年調査)。また、4技能統合型学習は、基礎学力や学習意欲に関係なく、学習成果の向上に効果があるとも言われている。私たち教師が文法・知識の習得のみにとらわれず、生徒の英語を使いたい気持ちに応えられるよう授業改善を図っていきたい。

－ 引用・参考文献 －

- 文部科学省『中学校学習指導要領解説 外国語編』平成29年7月
- 文部科学省『全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に向けた説明会』説明資料 令和元年8月

(教科教育研修課 眞正基道)